

とねこ



■ 学校教育目標

『自ら・共に拓く堺小っ子』

○進んで考える子

○思いやりのある子

○

発行日：令和4年6月13日

教育相談などより 目的意識をもって 子供同士が学び合う授業



初めての全体練習でのこの
集中力！お見事！

そよ吹く風に、やっとな夏の気配が感じられるようになってきました。そんな中、先日、初めて全校が集まっての入退場や開閉会式の練習を行いました。結論から言いますと、初めてとは思えないほど、集中した姿勢での練習でした。混乱した様子は全く見られませんでした。見事でした。なぜ運動会をするのか、この運動会の取組を通して

どんな力を身に付けていかなければならないか、そのために、どのように行動しなければならないか、発達段階に応じてどの学年にもそういった**目的意識**が浸透していることの証左ではないかと感じています。また、集団演技などブロックで練習する機会が多いのですが、上学年は下学年に教えたり見本となったりすることで自己有用感を高め

る、下学年は上学年を手本にスキルや学ぶ心を高める、**異学年交流を通して互いにスキルや心を高め合っている**ということも1つの大きな要因になっているものと感じているところです。

先々週よりの「いじめアンケート」へのご協力、ありがとうございました。本校では、このいじめアンケートを受けての個人への聴き取りの他にも、子供たち個々との教育相談も実施しています。そういう中で、いじめの早期発見・早期指導・早期解消・問題行動等の早期発見・迅速な対応に努めているところです。ご家庭においてお子さんのことをご心配なことがございましたら気兼ねなくご相談いただければと思っています。

これまでもお伝えしていますが、本校は、「教師が教える授業」から「**子供同士が学び合う授業**」へ、すなわち、「**主体的・対話的で深い学び**」の実現を目指した**授業改善**を進めています。先日、全職員で録画編集した5年生の算数の授業を観ながら、本校の目指す「**主体的・対話的で深い学び**」へのベクトルを揃えるべく研修を行いました。3-2の学級通信に『授業では、自分で考える時間の後、ペアで教え合ったり、自分の考えを説明したりしています。その後全体で交流をします。分からない事があれば、他の子が説明してくれています。分からないことを「わからない」と言えること。分からない子に対して説明できること。お互いに高め合っている証拠かなと思っています。』といった記載がありました。「**子供同士が学び合い高め合う**」そんな授業を目指して、本校一体となって進んで行くこととなります。



算数(4-1)より
互いにiPadを見せ合いながら
の意見交流